



世代交流  
拡大号

## 世代を越えて集う「東京鰐陵会」を目指して

特集1「第31回東京鰐陵会総会報告」 特集2「会員と共に」 特集3「母校は今」

# 節目を終えて、次のステージへ

東京鰐陵会・会長挨拶



東京鰐陵会会长 加藤友成 (40回生)

しました。会場には一二〇名を超える方に参加頂きまして大変な盛り上がりとなりました。須田校長先生からは百年記念式典のご報告を頂き、「校訓パネル」目録の贈呈もさせて頂きました。

東京鰐陵会は昨年「石巻高等学校創立百周年記念式典」「東京鰐陵会創立65周年記念」という節目の年に記念に残る事業を進めてまいりました。

第一には東京鰐陵会で募金活動を行い、石巻高校に「校訓パネル」を贈呈しました。

第四としては「石巻の宝・

高橋英吉氏上映会」(六月九日)を開催しました。四団体による共催で一二団体による後援を頂き高橋英吉氏の世界に浸ることが出来ました。

いすれも記憶に残る活動となりました。

今年度は「世代交流拡大のめまして募金活動にご支援を頂いた会員の皆さんに感謝と共に心より御礼申し上げます。

第二は「東京鰐陵会総会においては節目を記念した様々なイベントを企画・実施

式」をさせて頂きました。改

には石巻高校において全校生徒を前に「校訓パネルの贈呈式」をさせて頂きました。改

員と共に」です。「百周年記念の活動報告」を掲載しています。また各世代の方々よりご寄稿を頂いております。

特集3「母校は今」としては「百周年記念式典を終えて受け継がれた鰐陵魂」と題し

「会」は三部制として第一部の「総会決議」に続き、第二部は「石巻リクリエイト」と題して谷口大造氏(芝浦工業大学教授・五五回生)による講演を予定しています。学生と共に活動している石巻へのお役立ちの活動を紹介頂きます。

第三部の懇親会では幅広い世代の会員の方々との語らいの場を楽しみたいと考えています。

そして二番目としては東京鰐陵会会報誌「東京鰐陵」二三号です。今回は「世代交流拡大号」として発行します。特集1としては「東京鰐陵会総会報告」です。幅広い世代が集合しての楽しい集いが報告出来ました。特集2は「会員と共に」です。「百周年記念の活動報告」を掲載しています。また各世代の方々よりご寄稿を頂いております。

最後になりますが昨年の皆様のご支援ご協力に対しまして改めまして感謝申し上げます。今年度も引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

三番目は「東京鰐陵交流会」の実施です。今回は初めて若い世代との交流を狙いとして交流会を企画・開催しました。三回生から八九回生の幅広い世代との交流が実現して新たなステージへのキッカケが出来たと考えています。

東京鰐陵会は昨年の節目で活動を終えて次のステージに向けて一段の交流拡大に尽力していきたく考えております。



創立百周年記念事業を終えて

鰐陵同窓会会长 青木利光（43回生）



東京鰐陵会の皆様には平素より母校と鰐陵同窓会の事業に格段のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

百周年の式典、講演会、祝賀会を開催しました。本来、令和5年度に開催する予定でしたが、令和2年から猛威を振るい続けたコロナ感染症の影響で準備が大幅に遅れ、一年遅れの開催になりました。延期しても百周年の事業は何かと大変でしたが、実行委員の皆さんの頑張りで全て成功裡に終えることが出来ました。当日は貴会からも加藤会長はじめ多くの会員にご参加頂きありがとうございました。

されました。寄贈後は旧図書館（平成一八年解体）や新校舎の図書室に保管展示されており、在校生には身近な存在だったのは皆さん周知の通りです。母校の宝でもあり、学校と生徒を見守るような存在でした。が、もつと広く一般の

たと思います。また、年が開けた令和七年二月に世界最高峰の自然写真賞を受賞した作品「ヘブンリーフラミングズ」を寄贈して頂きました。国内外各地で作品展を開催しておりますので既にご覧になつた方もいらっしゃるのではないでしようか。現在、東校舎一階廊下の校長室と事務室の間に展示してあります。そしてその隣にはやや赤みがかつた黄金色の立派なパネルが輝きを放っています。貴会よりご寄付頂きました校訓のパネルです。経年変化で数十年経つた方がより深みのある色合いになるそうですが、そこまで

に出来た石巻市の複合文化施設です。この施設には丁度三年前の一月から石巻博物館が併設されるようになります。館内の展示室には我々の大先輩、高橋英吉氏（二回生）の木彫作品が常設してあります。『高橋氏に関するまことは貴会の会報No.22の百周年記念特別寄稿『生きている高橋英吉』に詳しく掲載されて

いる自然写真家の高砂淳二氏（五三回生）です。多忙の中、講師を快諾して頂きました。世界各地で撮られた写真が素晴らしいのは言うまでもありませんが、「どのようにして撮ったのか」「何故この写真を撮ったのか」という話の内容は心に響き、共感出来るものがありました。現役の生徒達にも得るものが多くつ

よるもので、本部で毎年発行している会報の題字も千葉氏の書です。一行目には石中・石高の二つの校章の間に『自ら進運を開拓すべし』とあり、二~四行に三つの生徒心得綱領が記されます。東京鰐陵会の皆様も機会がありましたら、母校に足を運んで頂き、見て頂きたいと思います。

祝賀会は石巻グランドホテルでの開催でした。新たな百年において母校がさらに発展することを祈念し、大いに盛り上りました。

全員に配布という訳にはいかなかつたのですが、関係各位の尽力により予想以上に立派な記念誌を発刊することができました。百周年と言う大きな節目ですので随所に創意工夫を凝らしております。特に三部構成の「鰐陵一〇〇」には母校のことが多岐にわたり掲載されてます。様々な視点から過去と現在を知つてこそ未来の予測や見通しが立ちます。展望が開けます。そのための

では解決出来ない問題が発生することも十分考えられます。その時こそ「自ら進運を開拓すべし」のもと培ってきたもので対応せざるを得ないと考えます。

東京鰐陵No.22の一頁に大きく「世代を超えて集う東京鰐陵会を目指して」とあります。支部によつて事情は異なりますが、若い回生の参加が少ないのは多くの鰐陵会に共通しています。解決すべき喫緊の課題の一つです。もう一つ本部も含めて課題があります。女性会員をいかにして同窓会事業に取り込んでいくかです。平成十八年の男女共学化で初めて一〇二名の女子（通算八一回生）を迎える、三年後の二一年からは毎年女子の会員を迎えてますが、同窓会の事業にはほとんど参加がありません。まだ女子一期生でも三十代なので年齢のせいかもしれません、そろそろ女性会員が参加しやすい体制、雰囲気を作つていく必要性があると考えております。

指針となり得る記念誌だと負しておりますが、近年の社会の変遷は予想外に早く、新たな百年ではこれまでの経験では解決出来ない問題が発生することも十分考えられます。その時こそ「自ら進運を開拓すべし」のもと培ってきたもので対応せざるを得ないと考えます。

東京鰐陵No.22の一頁に大きく「世代を超えて集う東京鰐陵会を目指して」とあります。支部によつて事情は異なりますが、若い回生の参加が少ないのは多くの鰐陵会に共通してます。解決すべき喫緊の課題の一つです。もう一つ本部も含めて課題があります。女性会員をいかにして同窓会事業に取り込んでいくかです。平成十八年の男女共学化で初めて一〇二名の女子（通算八一回生）を迎える、三年後の二一年からは毎年女子の会員を迎えてますが、同窓会の事業にはほとんど参加がありません。まだ女子一期生でも三十代なので年齢のせいかもしれません、そろそろ女性会員が参加しやすい体制、雰囲気を作つていく必要性があると考えております。

結びに貴鰐陵会の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念するとともに百周年記念事業への多大なるご寄付、ご協

## 次の百年に向けて

宮城県石巻高等学校 学校長 難波智昭（57回生）



と昨年創立百周年式典を執り行つた石高（鰐陵）が次の百年に向けてどう取り組んでいくのか：私の思いを書かせていただきます。

東京鰐陵会の皆様には、本校の教育活動に日頃より格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年は創立百周年記念「校訓パネル」の寄贈をしていただき感謝申し上げます。（校長室入り口脇に掲額しております。）

今年の四月に着任しました、五七回生の難波智昭と申します。どうぞ、よろしくお願ひします。

母校とはいうもののまだだ不慣れな点が多くあり、四苦八苦している着任後間もない中での執筆ですので乱文をお許しください。私の紹介

賛、ご尽力を頂きましたこと心より御礼申し上げ、ご挨拶と致します。

新たに講堂兼第一体育館（鉄筋・暖房完備）竣工の年でもありました。バスケットボールで練習したものでした。練習の後半に、バスケットボールで練習した昭和四年に石巻商業高校から移管され第二体育館と称していた体育館に移動し、定時制の授業が始まる前まで練習したのが思い出です。二年生からは新築の第一体育館で快適な練習環境になり練習にも更に熱が入りました。そのおかげ？なのか、高校三年生でほぼ一倍という当時の石高では考えられないような倍率の年でした。入学してすぐ、O.B.を含む先生方から言われたのは「丙午の年だから、おまえたちは石高には入れた事を忘れないように！」と釘を刺されたことは今でも鮮明に覚えていきます。

入学した昭和五七年度といふと、昭和五五年には運営が廃止されていた「北辰寮」の解体、昭和二八年竣工の体育馆兼講堂として使用された第一体育馆（木造）の解体、

周年記念式典を執り行つた歴史を持つ伝統校ですが、伝統校として最も大事なことは伝統に安住することなく、今の時代におけるあり方を常に考え求めていく、「創造・進化・発展」の積み重ねだと思っており、まさに「進取独創」の精神そのものだと思います。

東日本大震災後、急激な石巻圏域の人口減少とともに大きな問題であり、今までの百年に向け「地域とともにあります」・「地域の期待を背負う（進学拠点校）」として、これから時代における本校のあり方を考えていかなければなりません。これから先は今までの伝統を土台にした新しい「鰐陵 石巻高等学校」を創造していくかなければなりません。これまでの伝統を土台にした新しい「鰐陵 石巻高等学校」を、御祈念申し上げますとともに

、次の百年に向けて本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

結びとなりますが、東京鰐陵会の皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。生徒達には、「伝統は誰かによって作られるものではなく、石高で学ぶすべての生徒が学校生活に対しても真剣に向き合い、積み重ねていく中で作られていくもの」ということを伝え、次の百年に向かい期待しているところです。

その一歩一歩をしっかりと積み重ねててくれるることを希望して、次回の周年記念式典を執り行つた時に、この「鰐陵 石巻高等学校」を、御祈念申し上げますとともに







会場風景：懇親会

だきました。

卒業以来、鰐陵同窓会には長らくご無沙汰が続いていまし

んはフェイスブックを立ち上げて、「おらほの会」と名付けました。

ます。  
2024年8月の石巻での  
鰐陵会同窓会総会には東京鰐

を務め、総会後に撮影した写真をDVDに収め、皆さん送つてくれました。

7. 当番幹事の引き継ぎ  
新田裕史さん（45回生）から森田弘志さん（46回生）に佐々木清さん（46回生）に法被が手渡されました。

8. 中締め

最後に佐藤悠監事（37回生）に中締めをしていただき、本会を終了しました。

当番回生として  
第31回東京鰐陵会総会を振り返って 新田裕史

2024年11月30日に第31回東京鰐陵会総会が日本教育会館の「喜山俱楽部」にて開催されました。鰐陵45回生が当番幹事を務めさせていた

当番回生として

第31回 東京鰐陵会総会を

新田裕史さん（45回）  
ら森田弘志さん（46回）  
佐々木清さん（46回）  
法被が手渡されましょ

（42回生）がエネルギーを  
振り絞って、熱い応援歌と  
鶴陵歌を盛り上げていただ  
きました。

「東京鰐陵会総会の当番幹事の順番がそろそろ45回生に回つてくる」といわれて、2019年の東京鰐陵会総会に初めて参加しました。その時の当番幹事は43回生でしたが、その

奮闘ぶりをみて、「当番幹事になつたら大変だ」という思いを強くしました。その時の45回生の出席者は大坂昌道さん（現・石巻在住）と私の二人だけでしたので、すぐに関東在住の鰐陵45回生のネットワークを作らなければならぬと考えて、鰐陵同窓会45回生理事の阿部利彦さんに相談して準備を始めました。幸か不幸か2020年から2022年まで3年間、リアル開催の総会は新型コロナウイルスの流行のため中止となり、その間にじつくりと準備をすることができました。45回生として四野見喜久男さんと私が東京鰐陵会の理事に就任することになりました。二人で協力しながら、関東在住の同期と連絡を取り合うことから始めました。四野見

最後に佐藤悠監事  
生）に中締めをして、  
き、本会を終了しまし

2020年から2022年まで3年間、リアル開催の総会は新型コロナウイルスの流行のため中止となり、その間にじつくりと準備をすることになりました。45回生として四野見喜久男さんと私が東京鰐陵会の理事に就任することになりました。二人で協力しながら、関東在住の同期と連絡を取り合うことから始めました。四野見さ

回生だより45回生の欄を)らし  
いと言えるかもしません。

今回の45回生の参加者は計  
11名でした。しかし、欠席の  
連絡をもらっていた鈴木潔さん  
は総会開催時間中にアメリカ  
から激励の電話をくれました。  
伊藤茂さんは総会準備の打合  
せとして10月に行われた運営  
委員会に参加してくれていたの  
ですが、総会は欠席との連絡  
があり、どうしたのかと心配し  
て、ご冥福をお祈り申し上げ  
が届きました。この場を借り  
て、ご冥福をお祈り申し上げ

んはフェイスブックを立ち上げて、「おらほの会」と名付けました。令和5年度は、ようやくリアル開催の総会が開催され、45回生は当番幹事前年ということで、懇親会では当番幹事の44回生から引継ぎをうける場面もありました。45回生は10名を超える参加があり、回生別の参加者数ではかなり多い方でなかつたかと思ひます。ただ、総会直前になって参加表明をする者もいて、事務局にはご迷惑をおかけしました。これも在学中からいろいろやらかし

2024年8月の石巻での  
鰐陵会同窓会総会には東京鰐  
陵会の当番幹事として、加藤  
会長さん、伊藤事務局長さん  
とともに参加させていただきました。  
同期と旧交を温めることができ  
ました。その際にはたくさんの方  
と一緒に参加させていただきま  
した。ただ残念なことにドク  
ターストップがかかつてしまつた  
人がいたりして、結局、石巻か  
らの参加者は無しになってしまった  
いました。古稀を迎える歳に  
なると身体の変調も他人事で  
はありません。

を務め、総会後に撮影した写真をDVDに収め、皆に送つてくれました。

我が家は父と二人の兄も含めて家族の4人が鰐陵同窓です。ただ、「ばっち」というのは何事も兄まかせのところがあり、同窓会にしても「兄が参加しているから自分で参加しなくともいいや」という優柔不断な考え方をしていました。ただ、まったく同期と関わりがなかつたわけではなく、担任だつた故・阿部秀先生が主宰していたクラシックコンサートの運営を手伝いに何度もか石巻に

だきました。配付資料の袋詰めなど、自然に連携がとれるのも同期ならではだと感じました。四野見さんは総会懇親会の司会の大役を、非常になめらかな語り口で、時には臨機応変にこなして、滞りなく会を進行しました。私は、45回生全員と一緒に壇上に上がり、代表して挨拶をさせていただきました。本郷さんはカメラマン

高校生の時にはあまり話をした記憶がなかつた同期ともいろいろと世間話をすることができ、心にやすらぎのようなものを感じます。すでに鬼籍に入つた同期も何人か数えられる中で、こうして同窓会に関わることは、自分が心身とともに健康であることであり、感謝すべきことだと感じています。

## 会場風景写真



## 会場風景写真



米寿・喜寿  
記念の挨拶：  
吉田貢さん



米寿・喜寿  
のお祝い



懇親会・  
乾杯：  
成澤良さん



懇親会司会：  
四野見喜久男  
さん



ミニコン  
サート：  
三浦梓さん



ミニコン  
サート  
の様子



ミニコンサート：  
内海清佳さん



ミニコン  
サート：  
渡邊公威さん



当番幹事  
代表：新田  
さん（右）と  
四野見さん



ミニコン  
サートの様  
子

## 会場風景写真

若手参加者  
紹介



当番幹事回  
生(45回生)



歓談タイム



歓談タイム



歓談タイム



歓談タイム



当番幹事の  
引継ぎ



応援歌指揮：  
鈴木卓郎  
さん



中締め：  
佐藤監事



次期  
当番幹事の  
挨拶：  
森田さん



# 各回生テーブル写真



25回生・役員



来賓・役員



30・31・32・33回生



26・27・28・29回生



37・39回生



34・36回生



40回生



38回生

# 各回生テーブル写真



38回生



41回生



44回生



43回生



48・65回生



45回生



45・50回生



56・67・87回生





## 校訓パネルの贈呈（2024年12月23日） 石巻高校にて

石巻高校創立100周年記念校訓パネル代協賛金協力者  
2025年8月4日現在(165名) 【784,100円】

回生	氏名	回生	氏名
21	櫻田 巖	33	木村日出夫
23	鹿野又清	33	木村 貴則
23	野中 浩	33	熊谷 正茂
24	佐藤 允俊	33	武山 洋治
24	高山 研造	33	橋浦 武夫
25	阿部 剛	33	堀内 文夫
25	佐々木俊文	34	明石 公夫
25	中里祐二郎	34	阿部 千春
25	山下 文祥	34	内崎 光勘
25	吉野 敏	34	久保 文征
26	小野寺康充	34	西條 修
26	崎野 隆三	34	佐々木孝三
26	三宅 宗議	34	佐藤 洋一
27	徳江 明	34	武山 佑三
27	船田 清孝	34	千葉 保宗
27	吉田 貢	35	邊見 義一
28	佐々木利勝	36	阿部 長光
29	菊地 靖雄	36	阿部 禧一
29	木村 莞爾	36	梅澤 智
29	千葉 弘二	36	菊地 潔
29	半澤 正義	36	三浦 亨
30	木村 長人	37	安住 知彦
30	今野 未治	37	阿部 貢
30	首藤 光春	37	遠藤 信雄
30	鈴木 賀夫	37	木田 洋
30	高橋 洋	37	今野 和明
30	寺澤 正興	37	境田 憲男
30	畠山 尚	37	榊 勝一郎
30	蜂谷 国彦	37	佐藤 悠
30	蜂谷 国彦	37	白鳥 隆幸
30	半澤 哲志	37	高橋佐千郎
30	増子 文人	37	丹野 静也
30	渡辺 武	37	千葉 徹
31	飯田 勝紀	37	星 千秋
31	伊藤 克夫	38	安住 豊
31	奥山 興悦	38	阿部 盛行
31	北川 洋三	38	荒川 憲一
31	遠山日出夫	38	尾形 慎次
32	猪俣 斌	38	熊谷 勝義
32	加藤 憲一	38	小池 泰
32	鎌田 一郎	38	佐々木正秀
32	櫻井 康正	38	館澤 佑

○「東京鰐陵会総会」での「校訓パネル（目録）」の贈呈式（2024年11月30日）  
○「石巻高等学校」での「校訓パネル（目録）」の贈呈式（2025年12月23日）

◎送金金額合計  
1、045、000円  
○協賛金協力者  
一覧表を参照

○費用見積もり合計  
1、045、000円  
○募金活動による協賛金  
合計..784、100円  
(165名)

## 会計報告 「校訓パネル贈呈」の

■感謝状の授与

今回の校訓パネルの贈呈に対しても、百周年記念式典（2025年11月8日）において「百周年記念事業実行委員会」より「東京鰐陵会」に対して、「感謝状」の授与がありました。

今街に向けて  
東京鰐陵会は次  
のステップに向け  
て「世代を越えて  
集う東京鰐陵会を  
目指して」交流拡  
大に一層の尽力を  
してまいります。  
今後ともご支援ご  
協力を宜しくお願  
い致します。

協力を宜しくお願  
い致します。

してまいります

目指して「交流拠点」

て一世代を越えて

東京鮓陵会は次

## ■今後に向けて

貢金】より「東京危機」として「感謝状」の返事。

（1995年1月）  
いて「百周年記念  
員会」より「東京

今田の相談ノ

## ■感謝状の授与

石巻高 東京鶴陵会 黄銅の校訓パネル寄贈

から資金募集の協力を  
要請があつたことを  
契機に周年に着手。現  
在約一千人の会員がい  
る。  
バネルは同会創立65  
周年事業として会員の  
募金で制作され、石巻  
高創立100周年記念  
部接次に

校訓パネル贈呈式・石巻日日新聞記事(12/27)

A wide-angle photograph of a large assembly in a school gymnasium. In the foreground, hundreds of students are seated on the polished wooden floor, facing a stage. On the stage, a person stands behind a podium, gesturing with their hands as they speak. The stage is framed by heavy red curtains. Above the stage, a small golden trophy or emblem hangs from the ceiling. To the right, a balcony with railings is visible, and a door is on the far right wall.

全校生徒を前に贈呈式の様子（2024年12月23日）石巻高校にて

## 鰐陵仲間とのお付き合い

今野雅隆（39回生）

「エイスブックで「石巻・雄  
勝・金華山」トレイルツアーア  
ーが企画していることを知り、  
すぐに参加を申し込んだ!!

今年2月8日、8時30分、石巻駅前集合。貸切バスで出発、10時大須漁港（雄勝）で降りて7km・3時間のトレイル開始。

どが病気の話)をすることからはじめたが、予定の2時間半は瞬く間に終わってしまった。会員資格を首都圏在住者に限定しなかつたことから他の支部から参加する仲間も増え、会員は12名から15名になつた。これからも年一回は開催して、新しい思い出を作つていきたいと考えている。



数十年ぶりの再会にもかかわらず、顔を合わせた瞬間にあの頃に戻ることができ、旧交を温め合う貴重なひとときとなりました。273名の同窓生のうち64名が参加し、クラスごとに一人ひとりが近況報告や在校時の思い出話（秘話？）を披露。そのたびに大きな拍手と笑いが沸き起きました。私（森口）が所属していた文芸部の顧問、恩師阿部正祐先生（英語）もご臨席くださり、変わらぬダメークのお姿に、懐かしさと嬉しさが込み上げました。

として尽力する所存です。

一方、東京においても、51回生は活発な交流を続けています。40年以上にわたり、毎年2月の第一金曜日には東京同窓会を開催し、旧交を温めながら共に歳を重ねてきました。東京在住の方はもちろん、全国からのご参加も大歓迎です。ぜひ一度足をお運びいただきければと思います。

蛇足ながら最後に一言。わが母校も男女共学となつて20年近くが経ち、

今年度より理事(新役員)を仰せつかりました、51回生の森口です。みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。  
さて、われら鰐陵51回生は、去る2024年9月28日、石巻グランドホテルにて還暦同期会を開催いたしました。

は、時間や距離を越えて我々  
をつなげてくれると実感しました。  
これからもこの絆を大切にし、古希、喜寿と節目ご  
との集いが続くことを願いつつ、次回、2029年5月に  
予定されている古希同期会に向けて、東京在住幹事の一人

東京鰐陵誌でも女子後輩たちの活躍がたびたび紹介されています。そろそろ女性役員が誕生してもよい頃ではないでしょうか。すでに議論されているテーマかもしれませぬが、D E I（多様性・公平性・包括性）が重視される今、世代や性別を超えた交流こそが、東京鰐陵の未来を形づくるものと期待しています。



## 鰐陵67回生の時代とは

佐藤祐介(67回生)

私たち67回生は、昭和51年52年生まれです。団塊ジュニアより2～3年下の世代です。小学生くらいまでは週末に、家族で立町にある丸光やエンドーチェーンに行き、空にはショッパーズ石巻のセスナ放送が流れ、街にはアドバルーンがたくさんあり、川開き祭りは人で溢れかえる。そんな活気に満ちた時代でした。

そんな石巻の良き時代も、昭和の暮れまでの十数年くらいだったと思います。昭和が終わり中学生になり、バブルの残り香もなくなった数年後、世の中がどんどん決して良くない時期に我々は幻の門をくぐりました。もちろん地域ではNo.1の進学校でも、気づけば「仙台の進学高」は遙か遠くに行つてしまっていました。そんな、何とも言えない屈託を抱えながら高校時代を過ごした人も多かつたかもしれません。少なくとも私はそうでした。

なので、諸先輩方のように多方面で活躍できるのだろうかという、ある種自虐的な感覚と不安を持ちながら高校時

代を過ごし、各自大学などへ進学し、そこから20数年の時を経て「令和5年度鰐陵同窓会総会」の幹事回生(66回正と共同幹事)として久しぶりに皆が顔を合わせることとなりました。

ここで驚いたのは、67回生の集まりの良さ!そして、総会準備作業を行う時のみんなのノリの良さ!20数年会つて一度も会話したことのない人、なかつた人、また高校時代にしているようにニコニコしているのです。唯一当時と違うのは、みんな「おじさん」だということ。

そこで驚いたのは、67回生の集まりの良さ!そして、総会準備作業を行う時のみんなのノリの良さ!20数年会つて一度も会話したことのない人、なかつた人、また高校時代にしているようにニコニコしているのです。唯一当時と違うのは、みんな「おじさん」だということ。

木村祐介(75回生)



22年前のあの日、仙石線のホームで、家族や友人に見送られた光景を、今も鮮明に覚えています。大きなスポーツバックを抱えて、列車の窓越しに見送ってくれる姿を見なき祭りは人で溢れかえる。そんな活気に満ちた時代でした。

そこで驚いたのは、67回生の集まりの良さ!そして、総会準備作業を行う時のみんなのノリの良さ!20数年会つて一度も会話したことのない人、なかつた人、また高校時代にしているようにニコニコしているのです。唯一当時と違うのは、みんな「おじさん」だということ。

そこから、東京鰐陵会でも定期的に集まりを設けたり、後輩(庄司輝秋監督71回生)が手掛けた映画「さよならほほやマン」を皆で鑑賞したりして、繋がりは途絶えずに続いています。「バブルを知らぬ世代?上等じゃねえか!」という気持ちで、いつまでもおだづもつこをして今まで青春を謳歌しています。

京都の学校へ進学した私は、文化の違いに戸惑いながらも、新たな出会いに恵まれ、多くのことを学びました。関西独自の賑やかさと、人との距離の近さに最初は驚きましたが、がら、18年間過ごした石巻の思い出がよみがえり、新たな生活への期待も入り混じったことを記憶しています。

次第にその空気にも馴染み、第二の故郷と呼べる場所になりました。

その後、関西で大手電機メーカーの代理店に就職し、社会人としての一歩を踏み出しました。順風満帆ではありませんでしたが、周囲の温かい支えに助けられました。

そして、17年前、東京への異動を命じられ、新たな舞台へと旅立つことになりました。現在は首都圏の大型工事現場に携わり、円滑な工程に向け商品の供給・人員の配置・効率化に向けた提案を行っておりります。現場とメーカーの狭間で課題と向き合う日々ですが、形になつて残るプロジェクトにやりがいを感じております。

そんな中で、仕事で訪れた得意先で、思いがけず鰐陵の大先輩に出会いました。互いに故郷の話をすると同時に、



TOKYOもKOKYOもJOUZOも  
好きです！…もちろんGAKURYOも！

石高が共学になるんだつて！が最新のトピックだったあの頃からだいぶ時が経ちま

初めまして。石高81回生・  
共学1期生の阿部美奈です。

松竹芸能のタレントスター  
ルに入学しました。現在は松  
竹芸能で「ミナノワール」と  
いう芸名で芸人活動をしつつ、  
ソムリエで生計を立て、東京  
バイオテクノロジー専門学校  
のお酒醸造・発酵食品コース  
に通っています。夢は自分の  
ワインアリーナをつくることで  
す！（あれ：芸人は？って話  
ですよね！全部楽しくて：気

のどかな地が好きな自分がまさか東京に住むとは思つてもらいませんでした。しかし住んだら都、便利すぎて最高ですね！地方から東京に帰つてきたときに、人の多さと匿名性に紛れ安心する自分もいたりします。



子どもたちとともに成長し続ける  
教師でありたい

野崎(旧姓…山口)紋佳(82回生)

ちよい先輩たち・可愛い後輩たちにこの会報を通して出会える機会をいただき感謝しております。そしてこれから実際にお会いできることを楽しみにしております。

石高の友人ととの関係は今まで続いており、たまに食事会も開いています。

クラスが遠くて話せなかつた子とも、大人になつてから再会し盛り上がりました。大都会の生活の中で同郷・同じ高校卒業という二ツチなくくりは、砂漠の中のオアシスの

石高の友人との関係は今まで  
も続いており、たまに食事会  
も開いています。

クラスが違くて話せなかつ  
た子とも、大人になつてから  
再会し盛り上りました。大  
都会の生活の中で同郷・同じ  
高校卒業というニッチなくく  
りは、砂漠の中のオアシスの  
ような潤いがあるといいます  
か：「エモい」ってやつですね

私は2010年3月に石巻高校を卒業し、現在は仙台市の小学校教諭として働いており、12年目を迎えました。今年は5年生の担任をしています。とてもエネルギー溌々な子どもたちですが、様々な課題を抱えている子も少なくありません。始業した当初は、私が今までに培ってきたものがなかなか通用せず、子どもたちと良好な関係を築き上げることが難しかったのです。しかし、そんな時ふと思ひ返

からです。そう考えると教師である自分も挫けるわけにはいけないとえました。また、冷静に考え、自分は子どもたちに「高学年としての当たり前の姿」を求めてしまつていただと反省しました。今は多様性の時代であり、そして様々な生きづらさを感じている子も大勢いると思います。自分の「当たり前」という価値観を崩し、子どもたちの

ニーズに合わせて学び直すことが必要だと切実に感じました。様々な本を読んだり、休日の学習会などにも参加した。しかし、「子どもの頑張りや小さな成長を褒めること」や「自分が子どもたち一人ひとりと積極的に遊んだり、会話をしたりすること」などを心掛けようになりました。少しずつですが、子どもたちとの関係を築けてきているように思います。子どもたちの成長を信じ、1年かけ焦らずじっくりと、前向きに関わっていきたいと思います。そして、自分も子どもたちとともに成長し続けていくために精進していくたいと思います。

『会員からのお便り』近況ハガキ（各回生）

聞・ラグビー部

高齢となり、歩行も長くは難しく自宅で静養しています。

最近のプロのバスケに昔との大変革を感じています。(元涌谷小学校、バスケット部、会社役員、ゴルフ・囲碁)

## 阿部彦八(22回生)

残りの人生を健やかにと。（新



中学校。バレー部)

### 高橋伝四郎(29回生)

南房総の海が見える丘で、未だにログハウス造りに精を出しています。今回は、多忙につき欠席させてもらいます。

(月浜中学校、文芸部、会社員、役員)、読書・園芸・日曜大工)

### 守屋晃治(29回生)

なつかしい皆様に早く会いたいです。(門脇中学校、柔道部、会社員)

### 半澤正義(29回生)

今頃は毎日ウォーキングに励んでます。それ以外はゴルフをしてます。田舎で暮らしてると都会へ出るのが億劫になるんです。総会にも出たかったんですが、残念ながらそんな訳で欠席させて頂きました。(赤井中学校、ラグビー部)

### 木村長人(30回生)

今年(令和6年)春、帯状疱疹を患い未だに完治せず治療を

報記載ですが正しくは「ラグビー部」です。今後は訂正方

報記載ですが正しくは「ラグビー部」です。今後は訂正方

### 蜂谷國彦(30回生)

関東在住の30回生で毎年暮と秋にゴルフ会を行っていまし

たが、2019年秋をもつて終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てま

たが、2019年秋をもつて終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てま

### 半澤哲志(30回生)

母校100周年おめでとうございます。元気でダイヤモンド婚を1月に迎えました。週

2回筋肉トレーニングを兼ね

ジム通いです。大震災の際には、カリタスジャパン石巻ベースを通じ、支援活動を行ってきました。現在もNPO法人「福島やさい畑」復興プロジェクトに参加し、月1回

野菜販売を主催しています。

恵み多い皆様でありますよう

に! 盛会を祈ります。(女

川中学校、バスケットボール

部、パナソニック(株)営業(電

気)、バスケット・ゴルフ)

### 今野末治(30回生)

太平洋を遙かに見渡せる、あの柔道場で、もう一度乱取りをしたいなーと思つていま

す(その体力があるかどうか)。

柔道場は、どうなつたので

しょうか。(住吉中学校、柔道部、社会保険労務士)

会社役員、読書・ゴルフ)

### 寺沢正興(30回生)

免許証を返上したので好きなことが出来ず、その上、歩く

ことが大変でどこにも行くこ

とが出来ず、いらっしゃ生

新田中学校、硬式野球部、野

球観戦)

### 渡辺武(30回生)

体調が良く有りません。年中入退院のくり返しです。(中

学校、電気部品、写真)

### 奥山興悦(31回生)

令和6年は、私の裁判官時代

の恩師である三淵嘉子さんをモデルとする朝ドラ「虎に翼」

が放映されたため、各方面から寄稿や講演の依頼を受けた。

10月に東京みやぎ石巻人会

ゴルフ)

### 阿部弘(31回生)

会の盛況を祈ります。(鹿又中学校、軟式野球部、住宅資材卸売)

終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てません。(住吉中学校、文芸部、

たが、2019年秋をもつて終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てません。(住吉中学校、文芸部、

ゴルフ)

### 伊藤克夫(31回生)

下手のまま長年続けているフルートで老人ホームライブのボランティアをやつています。

体力維持のため、毎日水泳6

~7百mを続けています。事務局活動敬意を表します。(飯

野川中学校、音楽部、フルート奏)

### 伊藤克夫(31回生)

下手のまま長年続けているフルートで老人ホームライブのボランティアをやつています。

体力維持のため、毎日水泳6

~7百mを続けています。事務局活動敬意を表します。(飯

野川中学校、音楽部、フルート奏)

### 北川洋三(31回生)

地元で太極拳の指導をして

て30年近くになります。毎朝

近くの公園に集まって太極拳

を楽しんでいます。私は杖つきの状態になりましたので、

ベンチに腰をかけて手だけ動

かしてしています。趣味の川柳を一句。「枯葉散る太極拳に秋

思ひを語り、また、東京鰐陵会に対する感謝の念を新たにしました。(住吉中学校、英語研究会、弁護士、囲碁・俳句)

### 阿部弘(31回生)

会の盛況を祈ります。(鹿又中学校、軟式野球部、住宅資材卸売)

終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てません。(住吉中学校、文芸部、

たが、2019年秋をもつて終了し、同輩との交流がなくなりました。年齢相応に元気ですが、寄る年波には勝てません。(住吉中学校、文芸部、



3年 三浦愛子



3年 三浦咲



3年 三浦愛子



3年 三浦咲



3年 三浦愛子



3年 三浦咲

毎日毎日もたもたした足を抱えなんとか暮らしています。私の所の袖ヶ浦市長浦地区でも乗り合い送迎バスが出来、自宅付近から駅とか病院とか公民館とかを3百円で利用できるようになりましたので今後はこれを利用したいと思います。足のもたつきの原因が脳にあるいは脊髄からかを探るためにセカンドオピニオンの意見を求めて他の病院でも診察中です。（涌谷中学校、会社員、囲碁・スクエアダンス）

遠山日出夫(31回生)  
元気に過ごしております。(ご  
盛会を祈念しております。(稻  
井中学校、柔道部)

**桑島 韶(31回生)**

**阿部倫夫**(33回生)  
(門脇中学校、山岳愛好会)

**武山佑三(34回生)**

て、「溺れて命を落とす子供を0にしたい」とのスローガンを掲げ、日本を元気にするためがんばっています。来年は、東京都下の公立小学校へ安全水泳教育を展開、将来

為欠席します。酒と週一ゴルフとお馬の運動会で日々是好日也。盛会を祈念!! (大塩中学校、無職)

す。大画面テレビを購入して  
スポーツ番組を見るのを楽し  
みにしています。右手には盃  
です。(住吉中学校 生徒会  
役員、薩摩琵琶錦心流皆伝木  
村東水)

小川紘一（35回生）  
80才になりましたが、元気には働いています。

阿部禧一（36回生）

2024年8月脊柱管狭窄症で入院手術、腰痛はなくなり

ました。（住吉中学校、税理士）

遠藤信雄(37回生)

かず 哀 $\parallel$ 友の計

華樂・花鳥風月  
かな? 取・安全、  
始末

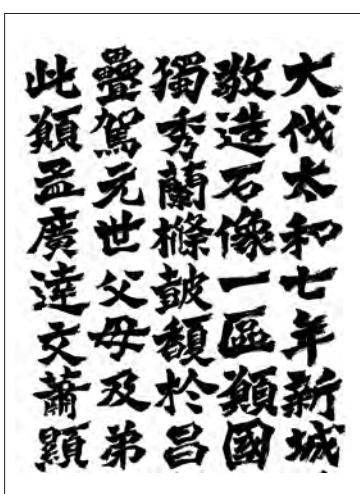
偶に冒険 捨<sup>ハ</sup>ブ  
ライド 選<sup>ハシメテ</sup>良西、

但し少々 拓<sup>ハ</sup>金

中学校、コーラス

タント・土木技術  
者、カメラ（写真  
を撮る）

## 今野和明(37回生) 大学同期会とWの 此



3年 岡田明華



3年 星悠華

体調が回復しません。ご高齢の方々、お気を付けてお過ごし下さい。(大川中学校、テニス部・演劇部、コンサルタント、ハイキング)

### 阿部盛行(38回生)

喜寿迄に無病息災で家内安全で來た人などおりません。健

康である為に、私は2つの流

派の太極拳を修練し、地域手

話サークルや老人サークルに

顔を出しています。これから

は、国内に入館登れる灯台が

16基あり、これら全てを訪ね、

国内の島々を5ヶ所、外国も

あと4ヶ国程観て來たいと思

います。なにせ、色々と煩悩

の多い性分ですので、行つて

も帰れぬ所へは、最後の楽し

みにとつて置きます。(女川

第一中学校、柔道部、シルバー

人材業、旅行・太極拳・手話

1級)

### 熊本正義(38回生)

盛会を祈念します。石高

100周年を迎えて鰐陵の活躍とOBメンバーの健勝を念じています。当日は所用先約

の為欠席します。(湊中学校、バスケットボール部、コスモ

石油・コーナン商事(株)、油

絵・ゴルフ)

### 小山慶孝(38回生)

喜寿の祝いに子供達のプレゼントはTシャツ。そこにプリントされた文字が「表：この

身体77年使つてきました。背

中：あと23年は使います。」病

気せずに生きてこられたのも、

故郷の自然、食べ物、人によつて生かされ年を重ねてきた結果…。感謝そして感謝する毎

日です。そして23年何をなしとげる…か…です。(石巻中

学校、人文科学部、医薬・医

療機器メーカー、ゴルフ・読

書・旅行・スポーツ観戦)

### 荒川憲一(38回生)

専門学校以上大学未満の小さな大学でまだ教鞭をとつてい

ます。(門脇中学校、バレーボール部・応援団、大学教員

(至誠館大学特任教授))

### 佐藤泰助(39回生)

石巻高校創立100周年・東

京鰐陵会65周年おめでとうござります。昨年12月についに

後期高齢者の仲間入りになりま

ましたが、何とか元気に旅を

続けております。(門脇中学

校、自動車内装部品製造会社、

大相撲観戦・旅行)

### 佐々木洋(41回生)

「樂生超寿(樂しみながら百寿

の山に登り、尚止まず)」を提唱しながら「世代間コネクト」

(上下共に10歳以上離れた友

人・知人達との交流)を通じての刺激的日々の毎日。時に

短歌をひねりつつ夢を追い続

ける道を歩いています。(女

### 高橋兵一(41回生)

脱炭素のプラントを作つてい

ます。(飯野川中学校、生物部、

産業機械設計製作、山登)

### 高橋兵一(41回生)

今回は同期氏家英幸君も参加

しますので宜しくお願ひしま

す。(石巻中学校、ベンフレンドクラブ、年金生活、旅行)

司桓以親賢司徒封南  
軍州兌州熒陽開封  
故中書令秘  
魏  
于漢鄭君

3年 高橋那知

### 佐藤幸男(41回生)

大凡健康に暮らしています。

(石巻中学校、バスケット部、

コンサルタント(化学系)、ゴ

ルフ)

### 藤原秀悦(41回生)

当日欠かせない所用がある為

欠席致します。申し訳ござい

ません。(飯野川中学校、卓

### 山形明夫(41回生)

ETRO→JICA、ODAと雑文投稿(Note.com))

相変わらず、元気に頑張っています。仕事はあと1~2年

は続ける所存。(住吉中学校、

生物部、自営(監査受託)、登

山)

コロナもおさまり、現在は近

場を旅行したり旧友にあつた

りのんびり過ごしております。

菅原新也(41回生)  
俳句三昧です。(笠岳中学校、水泳部、学校法人役員、俳句)

### 今野洋一(41回生)

現在も国立病院に勤務

中です。11月30日は勤務で欠席しますが、盛

会を祈つております。

### 渡部正昭(38回生)

会報22号のご送付、有難うございました。計報にあります

た「杉山茂」君は、41回生で

す。(石巻中学校、(株)リコー、

旅行・釣り・スポーツ観戦)

### 佐々木洋(41回生)

「樂生超寿(樂しみながら百寿

の山に登り、尚止まず)」を提唱しながら「世代間コネクト」

(上下共に10歳以上離れた友

人・知人達との交流)を通じての刺激的日々の毎日。時に

短歌をひねりつつ夢を追い続

ける道を歩いています。(女

### 佐藤泰助(39回生)

石巻高校創立100周年・東

京鰐陵会65周年おめでとうござります。昨年12月についに

後期高齢者の仲間入りになりま

ましたが、何とか元気に旅を

続けております。(門脇中学

校、自動車内装部品製造会社、

大相撲観戦・旅行)

### 佐藤泰助(39回生)

専門学校以上大学未満の小さ

な大学でまだ教鞭をとつてい

ます。(門脇中学校、バレーボール部・応援団、大学教員

(至誠館大学特任教授))

### 佐藤泰助(39回生)

石巻高校創立100周年・東

京鰐陵会65周年おめでとうござります。昨年12月についに

後期高齢者の仲間入りになりま

ましたが、何とか元気に旅を

続けております。(門脇中学

校、自動車内装部品製造会社、

大相撲観戦・旅行)

### 佐藤泰助(39回生)

専門学校以上大学未満の小さ

な大学でまだ教鞭をとつてい

ます。(門脇中学校、バレーボール部・応援団、大学教員

(至誠館大学特任教授))

### 佐藤泰助(39回生)

専門学校以上大学未満の小さ

な大学でまだ教鞭をとつてい

ます。(門脇中学校、バレーボール部・応援団、大学教員

(至誠館大学特任教授))</



3年 後藤穂乃花



3年 土井麻緒

**村上圭司(42回生)**

週3日、JAXA宇宙科学研究所にて、気球実験の技術支援を継続しています。所用により欠席しますが、総会の盛会をお祈りいたします。

(住吉中学校、硬式野球部(一年生のみ)部、(元)電機メーカー・(現在)技術コンサル、ゴルフ)

**大山良治(43回生)**

東京の「お茶の水はりきゅう専門学校」の校長として勤務しております。(湊中学校、吹奏楽部、日本薬科大学客員教授)

カーネギー(現在)技術コンサル、

(飯野川中学校、卓球部、塾、尺八・卓球・読書)

**佐々木哲雄(43回生)**

高齢になつてから、尺八の仲間・卓球のサークルの仲間・教会(プロテスチント)の仲間と交流があります。喜んで集まりに参加し楽しい日々です。

**松谷 昇(43回生)**

人生100年時代、健康維持を目的に卓球を日々楽しんでいます。(矢本中学校、卓球部)

若山栄作(43回生)  
「100周年」記念号を届けて頂きました。妻と娘家族で旅行なども楽しんでおります。(豊里中学校、会社員(製造業)、野球・ソフトボール・ゴルフ)

**田 昭治(44回生)**

71歳、毎日フルタイムで働いております。オーダーメイド

のプラズマプロセス装置の設計・製作と新規プラズマ源泉の開発に没頭しております。

田島氏」ととも連動しますが、傑作だと改めて感動した次第です。私は来年5月に個展を予定していますが、制作のための大いなる発奮となりました。(中津山中学校、重量挙部、画家、水泳)

**平山 博(44回生)**

に留意し、日々楽しんでまいりたいと思います。今回は用事があり、残念でありますがあくまで校舎の窓から見た太平洋を思い出します。

(雄勝中学校、陸上部、会社員、登山)

**田 昭治(44回生)**

71歳、毎日フルタイムで働いております。オーダーメイド

のプラズマプロセス装置の設計・製作と新規プラズマ源泉の開発に没頭しております。

**松野 公(44回生)**

申し訳ありません。次回宜しくお願い致します。70歳過ぎても仕事やっています。(門脇中学校、ピアノ調律)

三井 尚(45回生)  
退職後趣味検索中。通院のため参加出来ず残念です。老いを感じずにはおれない1年になりましたが、何とか自分らしく笑って過ごそうと思う今

**渡辺信彦(45回生)**

昨年初めて総会に参加しました。応援団の「まぼろしの門」に感動しました。仕事は、生涯現役?が目標?(同期の四野見さんから情報をもらっています。感謝) 東京鰐陵会31回

総会ご準備、運営、ありがとうございます。(前谷地中学校、卓球部、会社経営・代表、登山・版画)

**伊藤英二(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳ありません。どうぞ盛大な会

となります事を!(門脇中学校、吹奏楽部、音楽講師)

**三條慶治(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳ありません。どうぞ盛大な会

となります事を!(門脇中学校、吹奏楽部、音楽講師)

**三條慶治(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳

ありません。どうぞ盛大な会

**伊藤英二(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳

ありません。どうぞ盛大な会

**三條慶治(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳

ありません。どうぞ盛大な会

**伊藤英二(45回生)**

当番回生であるにもかかわらず、総会当日およびその準備の手伝いも出来ず大変申し訳

くお願ひ致します。

### 庄子 茂(45回生)

定年まで勤めた会社で、週3日アルバイトをしています。東日本大震災で復旧工事に携わったのが、現役中の思い出です。(前谷地中学校、陸上競技部、設備工事業、低山の散歩)

### 津野繁利(45回生)

東日本大震災で野蒜はなく、金欠病。また、種々の病のため通院生活中。(湊中学校、物理部、将棋・音楽(クラシック)鑑賞)

### 星 裕亮(45回生)

成人病(糖尿・高脂血症・高血圧)がこれ以上悪化しないよう食事や適度の運動に励んでいます。(石巻中学校、柔道部)



3年 本田紗奈

### 阿部順市(46回生)

在学中に50周年の記念式典があり、石巻市民会館で挙行された記憶があります。あれから半世紀、早いものです。(湊中学校、音楽部、会社員、旅行・音楽)

### 伊藤 隆(46回生)

関東ラグビー協会の理事(書記長)をしております。(雄勝中学校、ラグビー部)

### 津野繁利(45回生)

石巻高等学校創立百周年、そして東京鰐陵会創立六十五周年、共におめでとうございました。素晴らしい長い年月の節目ですね。今後も多くの石高卒業生の皆様の参加によって、鰐陵会が更に発展して行くことを望んでいます。(湊中学校、(元)専門学校・大学教職員、(現)オンライン英語教室代表)

### 佐藤浩二(46回生)

盛会をお祈りします。11月は、東京で同級生の移動総会が行なわれ、それに出席予定です。(豊里中学校、元医療関係)

### 及川和彦(47回生)

相変わらず地域のボランティ

### ア活動(寒川エコネット)、また、神社役員(倉見神社)と、忙しく日々を送っています。

一生現役のつもりです。(石巻中学校、物理部、会社員(現在無職)、テニス・ジョギング)ア活動(寒川エコネット)、また、神社役員(倉見神社)と、忙しく日々を送っています。

もりであります。60歳からテニスを始め、地域のコミュニティにもなじみはじめました。健康第一で仕事と運動を頑張ります。(門脇中学校、会社員、テニス)

### 島山卓弥(47回生)

土曜勤務のため失礼いたしました。時々牧山に登ったり、湊の海岸や突堤を見に行つております。(湊中学校、卓球部、医師)

### 山戸 淳(50回生)

元気です。(石巻中学校、ヨット・バスケ部、電機・設計、将棋・パチンコ)

### 浅野秀明(55回生)

年齢も60歳の還暦を迎え、更に定年が延長されたことからも、これから益々健康管理を意識したいと

思います。(蛇田中学校、テニス部 地方公務員(警視庁)、オートバイ・キャンプ・写真)

『挿絵について御礼』  
「会員からのお便り」コーナーに掲載されています「挿絵」は「石巻高等学校書道部」の皆さん的作品です。この度ご提供頂きました「石巻高等学校道部」のご理解とご協力に感謝と共に心より御礼を申し上げます。

### 後藤和也(50回生)

この8月で65歳になります。総会のご案内ありがとうございます。今年は残念ながら会社行事の都合で欠席いたします。

皆様のご健康と会の発展をお祈りしております。(湊中学校、柔道部、電設資材商社営業、温泉)

### 木村祐介(75回生)

ご無沙汰しております。総会のご案内ありがとうございます。今年は残念ながら会社行事の都合で欠席いたします。

皆様のご健康と会の発展をお祈りしております。(湊中学校、柔道部、電設資材商社営業、温泉)



書道部 百周年記念写真

## 「百周年記念式典を終えて」

新たな百年に向けて 受け継がれた鶴陵魂

鶴陵同窓会事務局長 二階堂守宏(57回生)

### ◎百周年記念式典

令和六年十一月八日マルホンまきあーとテラスにて創立百周年記念式典を行いました。

式典はオープニングで吹奏楽部の素晴らしい記念演奏から始まりました。

卒業生、在校生、職員など約九百名が出席、百年の歴史を振り返りつつ、これから百年に向けての決意を新たにした内容で、参加された方々

式典はオーブニングで吹奏楽部の素晴らしい記念演奏から始まりました。

生徒代表挨拶は生徒会長の馬場珀虎(はくと)君が力強く語ってくれました。彼の素晴らしい

挨拶に会場から多くの拍手が贈られました。(大変素晴らしい内容でしたので掲載しました。)

応援披露では応援団長の畠山煌世君を中心とした応援団

が登場、演舞の披露、全校生

徒はもちろんのこと会場が

一体となつた「幻の門」、アン

コールで校歌も歌いました。

式典終了後は自然写真家の

高砂淳二氏(53回生)の「地球

人としての自覚を持つて生きる」と題しての記念講演が行われました。「一人一人が未来の地球を創る」というメッセージが印象に残りました。

### ◎感謝状贈呈者一覧

小玉 卓夫 氏  
第26代校長として尽力

小松 敦 氏  
第27代校長として尽力

神成 浩志 氏  
第28代校長として尽力

高梨 正博 氏  
第29代校長として尽力

東京鶴陵会 様  
校訓(生徒心得綱領)

パネルの寄付  
関西鶴陵同窓会 様

校訓(生徒心得綱領)  
校歌の横断幕の寄付



オープニング(吹奏楽部の記念演奏)



記念式典 塾上全景



須田一憲校長(55回生)の式辞



青木利光実行委員長(43回生)の挨拶



生徒代表 馬場珀虎君の挨拶

畠山 卓弥 氏（47回生）  
生徒への奨学金を寄付  
佐藤 祐介 氏（67回生）  
百周年記念事業に寄付  
千葉 蒼玄 氏（45回生）  
校訓（生徒心得綱領）  
パネル原稿の墨書きを作成  
亀山 裕昭 氏（70回生）  
百周年記念に絵画を寄付  
阿部 利彦 氏（45回生）  
百周年記念に応援団旗、  
ポール、太鼓台を寄付  
青木 利光 氏（43回生）  
創立百周年記念事業実行  
委員長として尽力



応援団長 畠山煌世君



応援団登場

もそこには石高生ならではの伝統が、誇り高き鰐陵魂がありました。本校は大正十二年（一九二三年）に旧制石巻中学校として開校し、自由な校風の元で多くの生徒が勉学に励んできました。第二次世界大戦の激動の時代を乗り越え、昭和二十三年（一九四八年）には学制改革により石巻高等学校となりました。昭和四十六年（一九七一年）からは生徒会活動のなかで服装自由化に向けて動き出し、服装審議委員会を発足させました。三年間に及ぶ議論の末、昭和四十九年（一九七四年）によくやく私服での生活が可能になりました。私達が自らの判断で自由な服装で登校できるのは言うまでもなく、歴代の先輩方のご尽力のおかげです。さらに今から十八年前の平成十八年（二〇〇六年）には男子校から男女共学校となりました。現在では男女問わず地域を超えて活躍しています。どの時代をとつて百年の歴史、それは決して平坦なものではなかったことと

震災が発生し、避難所として地域の方々を受け入れました。甚大な被害を受けながらも当時の先輩方は避難所運営に主体的に協力していました。直近では令和二年（二〇二〇年）から世界中で蔓延した新型コロナウイルスの影響による校内外活動の規模縮小を乗り越え、現在では学校生

馬場 琥虎（97回生）  
石巻高校は大正十二年（一九二三年）の開校から創立百周年を迎えました。この間、私達鰐陵生へ多大なご指導を賜りました先生方や地域の方々、そして全国の多くの鰐陵の先輩方に心から感謝を申し上げます。

本日の百周年記念式典に在校生として出席し、この記念すべき年に在籍できることを大変嬉しく思います。創立以来、石巻高校が歩んできた坦なものですなかつたことと



参加者全員で校歌斎唱



講演する高砂淳二氏（53回生）



東京鰐陵会 加藤友成会長（40回生）への感謝状贈呈

活も落ち着きを取り戻しました。鰐陵総体、鰐陵祭、そして強歩大会の三大行事も復活し、かつての石高の盛り上がりを超えようと生徒一同日々励んでいます。

近年では気候変動の影響を受け、夏場の猛暑は年々厳しいものとなっています。これに対処するため、さらなる服装自由化を求めて、半ズボンの着用に関する話し合いを行いました。半ズボンを制服にしている学校は国内でも少なく、また半ズボンでの登下校は高校生として相応しいのか、などの課題はあります。

これらの活動を通して今年度は八月に一週間の半ズボン着用試験期間を設けました。歴代の先輩方が実現した、この服装自由化をさらに良いものとするため、これからも話し合いを続けてまいります。

この百年で時代は大正、昭和、平成、令和へと大きく変化しました。石巻高校が歩んできた百年の歴史のなかで様々な困難を乗り越えてきました。しかし、一方で百年間変わらない伝統もあります。石高生の何事にも本気で取り組む姿勢、自由闊達な雰囲気、

誇り高き鰐陵魂はこの一世紀もの間、脈々と受け継がれてきました。

『質實剛健・進取獨創・自ラ進運ヲ開拓スベシ』私達は

この精神をこれから百年に

引き継いでいきます。そして、

これから百年の歴史を築いていきます。その初めの世代としてこれから石巻、宮城、日本、そして世界で活躍する人材となるため、全身全霊で勉学、学校生活に邁進していきます。

日本文化（3）東海大（7）中央大（5）東京農大（4）東洋大（3）日本大（3）法政大（2）武藏野大（4）明治大（4）早稲田大（1）明治学院（3）立教大（2）神奈川大（4）短期大学（1）各種専門学校（11）看護学校（11）公務員（2）

令和六年十一月八日  
生徒代表 馬場 琥虎

### ◎令和7年度 進路状況

（令和7年3月末現在）

医学科現役2名など難関大合格もあり、よく健闘しました。

### ◎令和6年度 各部活動の活躍

6月の県高校総体は通常通り開催されました、3年生にとって最後を飾る大会であり、東北大会、全国大会への予選会でもあり各部ともよく健闘し、ボート部、ヨット部が全國大会への出場権を獲得しました。インターハイではボート部の男子ダブルスカルが2位に入賞するなど素晴らしい

### ◎私立大学（289）

東北学院（95）  
東北工大（9）  
東北福祉大（23）  
東北医薬大（15）  
宮城学院女子大（20）  
東北文化学園大（7）  
獨協大（2）駒沢大（3）  
大東文化（3）東海大（7）  
中央大（5）東京農大（4）  
東洋大（3）日本大（3）  
法政大（2）武藏野大（4）  
明治大（4）早稲田大（1）  
明治学院（3）立教大（2）  
神奈川大（4）  
短期大学（1）  
各種専門学校（11）  
看護学校（11）  
公務員（2）

活躍を見せてくれました。  
また、文化部も活躍し全国大会へ出場しています。

全国大会での成績は次の通りです。（名前の後の○数字は学年）

は学年）

インターハイ

【ヨット部】

男子420級43位  
男子420級45位

千田隼暉③・坂下綾杜③

男子420級45位  
石垣歩純③・

小泉廉太朗③

男子ILCA6級20位  
佐藤好晟③

女子420級16位  
楓木澤玲心③・

齊藤愛莉③

【ボート部】

男子ダブルスカル2位  
準々決勝

黒澤優太③

女子ダブルスカル準々決勝

岩渕直佳③・櫻井里穂②

鈴木伯史③・阿部瑠聖③

女子ダブルスカル準々決勝

遠藤由野②・鈴木優那②

書道部

軽部恵未③

【新聞部】

遠藤由野②・鈴木優那②

【美術部】

軽部恵未③

堀内優衣③



インターハイ ボート部 ダブルスカル準優勝

女子ILCA6級13位

岡本光莉③

# 世代を越えてつながる— 東京鰐陵交流会開催報告

東京鰐陵会事務局次長 小田島孝好(43回生)

2025年6月7日、銀座の「テング大ホール銀座ナイン店」にて東京鰐陵会主催による初めての「東京鰐陵交流会」が開催されました。今回の交流会は、「世代を越えて集う東京鰐陵会を目指して」というビジョンのもと、若手世代の参加促進と楽しい交流の場づくりを目的に企画されたものです。

当団は31回生から89回生まで、総勢42名が集い、最年長は84歳、最年少は26歳という幅広い世代構成となりました。

実行委員会には東京鰐陵会執行部メンバーに65回生、67回生有志が加わり推進されました。司会は67回生の笠原秀浩さんと43回生の伊藤純一さんが務めました。

開会の挨拶では、加藤会長より「世代の垣根を越えて鰐陵の絆を深めていこう」との力強いメッセージが送られ、続いて65回生の平井大之さんによる乾杯で歓談がスタート。会場内では、初対面同士でも母校を共通の話題に盛り上がり、多くの意見が多数寄せられました。

る姿が多く見られ、特に若手世代が積極的に会話をリードする様子が印象的でした。

中盤には、紅一点で参加された女性卒業生の自己紹介もあり、会場は一層和やかな雰囲気に包まれました。終盤には、先輩の方々からも「これからも参加したい」とのお言葉がありました。会場は終始明るく、笑い声があちこちから聞こえてきました。最後は記念撮影を行い、交流会は盛会のうちに終了しました。

実施後のアシケートでは、「世代を超えて話ができる」「もっと多くの同級生にも参加してもらいたい」「運営側の熱意が伝わってきた」などの好意的な意見が多数寄せられました。一方で、「自己紹介の時間が短かった」「時間が足りなかつた」といった改善点も挙げられており、今後の運営に向けて貴重なヒントとなりました。

今後も東京鰐陵会では、こうした世代横断的な交流の機会を継続的に設けるとともに、より多くの若手世代の参加を促す取組を進めてまいります。母校を共通の絆としながら、今後の同窓会活動がますます活性化することを期待しています。



交流会集合写真



## 東京鰐陵会ホームページの案内

東京鰐陵会にホームページがあることをご存じですか。

手持ちのパソコン、スマホから見てください。

アドレスは、<https://www.gakuryou.com/>

「東京鰐陵会」で検索することでも見つけられます。

クラシックなトップページです。中身も定期的には更新されませんが、時々見てください。トップページにある「鰐陵メール」で情報等もお寄せください。（HP担当：新田）



## 運営資金援助協力者名簿（2025年8月5日現在）

回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名
23	野中 浩	34	明石 公夫	39	畠山 廣造	44	松野 公
24	佐藤 兼俊	34	阿部 千春	40	阿部 義治	45	伊藤 英二
24	高山 研造	34	内崎 光勘	40	石森 雅文	45	大山 巖
24	玉河 信也	34	久保 文征	40	伊勢 邦夫	45	三條 慶治
24	長谷 潔	34	西條 修	40	岩崎久仁夫	45	四野見喜久男
25	佐々木俊文	34	佐々木孝三	40	加藤 友成	45	庄子 茂
25	高橋 清記	34	菅原 國安	40	木村 道夫	45	杉山由紀男
25	高橋 和雄	34	武山 佑三	40	斎藤 紀夫	45	新田 裕史
25	中里祐二郎	34	千葉 保宗	40	佐々木清光	45	星 裕亮
25	山下 文祥	35	遠藤 信行	40	佐々木進	45	本郷 耕基
25	吉野 敏	35	小川 紘一	40	瀬川 徹	45	松永 宏
26	崎野 隆三	35	星野 捷二	40	高橋 憲司	45	三浦 洋次
26	三宅 宗議	35	木本 信	40	田村 隆	45	三井 尚
27	阿部 尚之	36	阿部 長光	40	平塚 善伸	45	山崎 義二
27	徳江 明	36	阿部 禧一	40	萬代 玄	45	渡辺 信彦
27	平塚 久義	36	梅澤 智	40	吉田 章	46	伊藤 隆
27	平山 貞夫	36	菊地 潔	40	渡辺 総一	46	伊藤 哲郎
27	船田 清孝	36	相良 秀夫	41	氏家 英幸	46	佐々木 清
27	吉田 貢	36	三浦 亨	41	遠藤 栄松	46	佐藤 浩二
28	佐々木利勝	37	安住 知彦	41	小間 真悦	46	伏見 洋之
28	成澤 良	37	阿部 貢	41	斎藤 巧	46	森田 弘志
29	今井寅三郎	37	砂金 正郎	41	佐々木 洋	47	及川 和彦
29	岩渕 茂	37	遠藤 信雄	41	佐藤 幸男	47	佐藤 敦彦
29	木村 菅爾	37	木田 洋	41	菅原 新也	47	畠山 卓弥
29	高橋伝四郎	37	今野 和明	41	高橋 兵一	48	明石 和彦
29	千葉 弘二	37	境田 憲男	41	中村 雅俊	48	阿部 正行
29	守屋 晃治	37	榎 勝一郎	41	沼倉 寿男	48	荒木 泰弘
30	木村 長人	37	佐藤 悠	41	藤原 秀悦	48	加藤 博
30	今野 未治	37	白鳥 隆幸	41	宮増 秀一	48	鈴木 雅芳
30	首藤 光春	37	高橋佐千郎	41	山形 明夫	49	平塚 仁
30	高橋 洋	37	丹野 静也	42	伊藤 信一	49	横江 敏勝
30	田中栄太郎	37	千葉 徹	42	伊藤 輝昭	50	扇谷 雄司
30	寺澤 正興	37	星 千秋	42	鈴木 卓郎	50	加藤 仁
30	嵐山 尚	37	村井 善郎	42	田口 敏明	50	後藤 和也
30	峰谷 国彦	38	安住 豊	42	土屋 清治	50	佐藤 健
30	半澤 哲志	38	阿部 盛行	42	新田 輝夫	50	伏見 英敏
30	増子 文人	38	荒川 憲一	42	村上 圭司	50	山戸 淳
30	渡辺 武	38	和泉 耕二	43	伊藤 純一	51	高橋 英紀
31	阿部 弘	38	大林 正人	43	今藤幸一郎	52	伊勢 浩明
31	飯田 勝紀	38	尾形 憲次	43	遠藤 洋治	52	高橋 章建
31	伊藤 克夫	38	熊谷 勝義	43	大山 良治	55	浅野 秀明
31	奥山 興悦	38	小池 泰	43	小田島孝好	56	星野 知倫
31	北川 洋三	38	小山 廉孝	43	佐藤 休三	59	大橋 英之
31	桑島 鑿	38	佐々木正秀	43	佐藤 淳一	60	佐々木克仁
31	櫻井 勝夫	38	鈴木 瞳夫	43	成澤 貴義	62	成家 新一
31	遠山日出夫	38	館澤 佑	43	松谷 昇	65	大子田哲郎
32	阿部 隆雄	38	丁子 幹雄	43	吉田 祐一	65	高橋 俊亮
32	猪俣 斎	38	中島 智	43	若山 栄作	65	平井 大之
32	角田 守弘	38	長沼 金彌	44	青木 良有	65	大和 優雅
32	加藤 憲一	38	早川 誠	44	赤坂 正行	67	色川 賢史
32	鎌田 一郎	38	船山 浩志	44	岩崎 由次	67	笠原 秀浩
32	手代木 扶	38	横田 幸治	44	大森 一隆	67	草刈 敏幸
33	熊谷 正茂	38	渡部 正昭	44	尾口 仁志	67	今野 啓之
33	木村日出夫	39	阿部 重雄	44	樋野 信治	67	佐藤 刚史
33	木村 貴則	39	岩崎 宏幸	44	高橋 政昭	67	佐藤 祐介
33	栗原 光男	39	氏家 一行	44	田 昭治	75	木村 祐介
33	武山 洋治	39	熊谷 道夫	44	半澤 竹彦	87	二階堂守仁
33	橋浦 武夫	39	今野 雅隆	44	日野 和徳		(敬称略)
33	堀内 文夫	39	佐藤 泰助	44	平山 博		

合計234名／505,000円

2024年度 東京鰐陵会 収支報告書		
自 2023年10月1日 ~ 至 2024年9月30日		
東京鰐陵会 会長 加藤 友成 会計担当 新田 輝夫		
収入の部		
科 目	収入金額(円)	摘要
前期繰越金	1,508,245	2023年10月1日現在繰越金
協力金	231,746	理事会懇親会費用6,000円×38名=228,000円 運営委員からの寄付3,746円
運営資金援助	1,604,500	会員からの運営資金協力金(224名)
雑収入	20	郵便料金
収入 小計	1,836,266	
会費	1,027,000	総会出席者(会員113名、石巻から1名、学生1名)
来賓ご祝儀	27,000	
収入 小計	1,054,000	
収入 合計	4,398,511	
支出の部		
科 目	支出金額(円)	摘要
会議費	302,179	理事会懇親会費用284,529円 会議室使用料17,650円
会報誌発行費	220,150	2,000部(デザイン・製作費、印刷費、諸経費)
ホームページ維持費	14,628	サーバー利用料等
交通費、会費、広告費	81,392	鰐陵同窓会本部会報広告代、総会参加費
通信費、雑費	85,867	封筒代、郵送代、メール便発送費等
高橋英吉氏上映会関係	23,957	チラシ製作費、送料等
支出 小計	728,173	(一般収支差額 1,108,093円)
宴会費	694,108	宴会会場費・飲食代、講演者お車代等
準備費用	73,524	「総会資料」印刷代、メール便発送費等
関係事務・雑費	183,093	米寿喜寿記念品代、後納ハガキ料金等
支出 小計	950,725	(総会収支差額 103,275円)
支出 合計	1,678,898	
収支の差額	2,719,613	
現 金	33,812	
郵 便 貯 金	2,685,801	

上記監査の結果、正確・適正に処理されていることを認めます。

2024年10月19日

監事 佐藤 悠印

監事 熊谷 勝義印

訃報		
(2025(令和7)年7月20日現在)		
前回発行以降に連絡及び昨年の総会中止案内の返信等で、 下記のご逝去の報をお受けしました。		
心からご冥福をお祈り申し上げます。鰐陵回生順、年月日は、お受け した返信等によるご逝去の年月日です。		
記		
17回生	鈴木 正三	13年前逝去
20回生	安住 重一	2023年(令和5年)12月29日逝去
21回生	山崎 節夫	2024年(令和6年)7月12日逝去
24回生	佐々木峰雄	2010年(平成22年)3月9日逝去
25回生	阿部 剛	2024年(令和6年)7月16日逝去
25回生	木村 修	2020年(令和2年)3月逝去
25回生	須田 茂雄	2023年(令和5年)4月6日逝去
25回生	土屋 敏	2024年(令和6年)逝去
25回生	沼田昭治郎	15年前逝去
26回生	伊藤禎也男	2023年(令和5年)6月22日逝去
26回生	高山 繁寿	2024年(令和6年)4月7日逝去
30回生	木村 景俊	2025年(令和7年)1月16日逝去
31回生	佐藤 孝	2024年(令和6年)4月1日逝去
31回生	榛澤 亮	2023年(令和5年)12月1日逝去
32回生	金山 吉雄	2018年(平成30年)4月18日逝去
32回生	高橋 勝彦	2024年(令和6年)5月逝去
34回生	片平 孝	2025年(令和7年)6月逝去
34回生	北川 淳	2024年(令和6年)8月29日逝去
36回生	高橋 幸記	2024年(令和6年)5月逝去
37回生	大森 雅司	2023年(令和5年)12月11日逝去
39回生	平塚 雄治	2024年(令和6年)7月1日逝去
40回生	中田 洋一	2023年(令和5年)3月逝去
41回生	梶谷 鉄朗	2024年(令和6年)11月逝去

## 2025年 東京鰐陵会役員名簿(敬称略)

役職	回生	氏名	役職	回生	氏名
参与	33	木村 貴則	理事	40	阿部 義治
参与	34	千葉 保宗	理事	40	斎藤 紀夫
参与	37	丹野 静也	理事	41	高橋 兵一
参与	37	境田 憲男	理事	41	沼倉 寿男
監事	37	佐藤 悠	理事	41	山形 明夫
監事	38	熊谷 勝義	理事	42	茂泉 吉則
会長	40	加藤 友成	理事	42	鈴木 卓郎
副会長	40	瀬川 徹	理事	42	新田 輝夫
副会長	40	平塚 善伸	理事	42	田口 敏明
事務局長	43	伊藤 純一	理事	43	伊藤 純一
事務局次長(会計担当)	42	新田 輝夫	理事	43	遠藤 洋治
事務局次長(会計担当)	43	遠藤 洋治	理事	43	小田島孝好
事務局次長	43	小田島孝好	理事	43	成澤 貴義
事務局次長	44	尾口 仁志	理事	43	吉田 祐一
理事	22	鈴木 善治	理事	44	岩崎 由次
理事	25	中里祐二郎	理事	44	尾口 仁志
理事	25	武山 勝	理事	44	半澤 竹彦
理事	28	成澤 良	理事	45	四野見喜久男
理事	29	千葉 弘二	理事	45	新田 裕史
理事	29	今野 勝幸	理事	46	森田 弘志
理事	30	木村 長人	理事	46	佐々木 清
理事	30	首藤 光春	理事	48	阿部 正行
理事	31	奥山 興悦	理事	48	荒木 泰弘
理事	31	桑島 鑑	理事	48	鈴木 雅芳
理事	32	小野寺義昭	理事	48	三浦 恵朝
理事	32	手代木 扶	理事	48	水澤 茂
理事	33	熊谷 正茂	理事	49	平塚 仁
理事	33	堀内 文夫	理事	50	伏見 英敏
理事	34	久保 文征	理事	51	森口 秀志
理事	34	佐藤 洋一	理事	52	大内 浩
理事	34	武山 祐三	理事	55	谷口 大造
理事	35	平塚 征一	理事	56	亀山 光浩
理事	36	阿部 長光	理事	56	星野 知倫
理事	36	菊地 潔	理事	58	浅野 剛
理事	37	村井 善郎	理事	59	佐藤 昌克
理事	38	安住 豊	理事	62	成家 新一
理事	38	早川 誠	理事	65	大和 優雅
理事	38	和泉 耕二	理事	65	平井 大之
理事	38	丁子 幹雄	理事	67	笠原 秀浩
理事	39	今野 雅隆	理事	67	佐藤 祐介

(敬称略)

## 第32回 東京鰐陵会総会のお知らせ

●日時：令和7年11月29日(土) 12:00～15:00

(受付開始 11:00)

●会場：「喜山俱楽部：平安の間」

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館9階

Tel : 03-3262-7661 URL : <https://kizan-club.com/>

●会費：10,000円(学生会費2,000円)

&lt;会費は当日受付でお納め下さい&gt;

(会費内訳／総会参加費：9,000円、東京鰐陵会運営資金：1,000円)

●概要：◇第1部：総会

◇第2部：講演会

講演テーマ：「石巻 Re-Create」

・講演者：谷口大造氏

(建築家(55回生))

芝浦工業大学建築学部

建築学科教授



◇第3部：懇親会

●当番幹事回生：46回生

恐れ入りますが、11月14日(金)までにお申し込みください。

お申込み⇒<https://forms.gle/Dku3MgyXnHbdij8J9>

※詳しくは東京鰐陵会HPをご覧ください。

<https://www.gakuryou.com/>

発行 ● 東京鰐陵会(石巻高等学校同窓会東京支部)

会長 加藤友成

発行所 ● 東京鰐陵会事務所(新田輝夫方)

〒115-0043 東京都北区神谷1-3-5-304 TEL &amp; FAX : 03-3927-8856

編集 ● 東京鰐陵編集委員会

Mail : [info@gakuryou.com](mailto:info@gakuryou.com)

【振込み口座】

●郵便振替口座番号：00180-4-350194 加入者名：東京鰐陵会

〔編集後記〕

そして新たに荒木泰弘理事(48回生)阿部正行理事(48回生)が加わり10名で行いました。協力いただいたことに感謝しかありません。編集会議はZ o o mによるリモート会議形式が定着しました。今後は女性や若い世代からの編集委員への参加も引き続き呼び掛けていきたいと考えています。ご協力ご支援のほど宜しくお願い致します。

(編集委員会)

今回の東京鰐陵会会報誌「東京鰐陵」23号は「世代交流拡大号」として制作に取り組みました。また会報誌としては活動年度がまたがることもあり「石巻高校創立百周年記念式典」及び「東京鰐陵会創立65周年の節目」を記念した活動報告も掲載しています。特集については今回も3部構成としました。特集1は「東京鰐陵会総会」の報告です。昨年の総会は百周年の記念事業として石巻高等学校への校訓パネルの贈呈式を実施したことが挙げられます。またミニコンサートも華を添えて大変な盛り上がりの様子を報告することが出来ました。多少なりとも会場の雰囲気を感じられたことと思います。

特集2は「会員と共に」として百周年を記念した活動の報告をいたしました。特に校訓パネルの寄贈の為に実施した募金活動の報告をしました。また今回のテーマである「世代交流拡大」の為に幅広い世代からの寄稿を頂きました。39回生から82回生までの幅広い方々からご協力いただき、充実したコーナーになりました。「会員からのお便り」コーナーではたくさんの会員から近況をお知らせいただきました。また挿絵として石巻高校書道部の皆さん的作品を掲載することができ若い力をもらいました。

特集3「母校は今」のコーナーでは「百周年記念式典を終えて」一新たな百周年に向けて受け継がれた鰐陵魂」と題して学校生活の様子を報告頂きました。そして最後には6月7日に実施した「東京鰐陵交流会」の報告も掲載しました。初めての開催でしたが31回生から89回生までのO B · O Gが集まり大変和睦かな交流の様子を報告することが出来ました。

本号の編集は従来メンバーと同様に加藤友成会長(40回生)瀬川徹一事務局長(43回生)平塚善伸副会長(40回生)伊藤純一事務局長(43回生)新田輝夫事務局次長(42回生)遠藤洋治事務局次長(43回生)小田島孝好事務局次長(43回生)尾口仁志事務局次長(44回生)、